



zSpace® 向け 3D モデルビューア
Virtua Viewer™



zSpace® 向け 3D モデルビューア

VirtuaViewer™



概要

- 簡単手軽にお手持ちの 3D モデルを zSpace® へ投影
- zSpace® ならではの VR 空間で 3D モデルの直感的な操作が可能
- つかむ・分解する・断面を見るなど、充実した機能を搭載

特徴

■ VR ディスプレイ「zSpace®」へお手持ちの3Dモデルを簡単に投影

今、教育現場や製造現場などで話題のVRディスプレイ「zSpace®」へ、お手持ちの3Dモデルを簡単に投影できます。zSpace®ならではのスタイラスペンによる直感的な操作を活かし、3Dモデルをつかんだり、分解したりなど、豊富な機能を直感的にご利用いただけます。

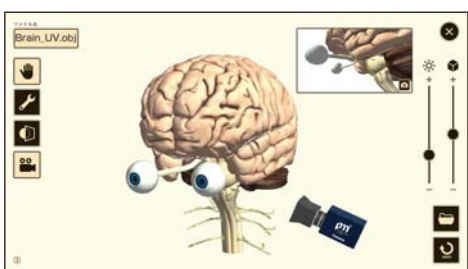
■ 汎用的な3Dモデル形式を幅広くサポート

3ds, objといった、汎用的な3Dモデル形式を幅広くサポートしています。また、今後のアップデートにより、対応フォーマットを拡充させていく予定です。

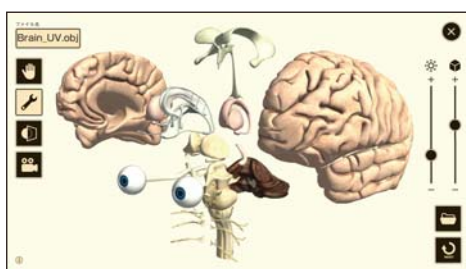
■ 洗練されたインターフェースで直感的に操作可能

海外製のアプリが多い中、弊社は日本人デザイナーによるインターフェース設計にこだわりを持っています。そのため、日本人に合った、わかりやすくやさしい直感的なインターフェースとなっています。

ご利用イメージ



▲ カメラ機能



▲ 分解機能



▲ 断面図機能

※ 画面は開発中のものです。

アプリ詳細

■ 動作環境

	最低要件	推奨環境
ディスプレイ	zSpace200 / zSpace AIO Pro ※1	
OS	Windows7 以降	Windows10 以上
CPU	Intel Core i3 以上	Intel Core i5 以上
メモリ	4GB 以上	8GB 以上
グラフィック	NVIDIA Quadro K2000 以上 (デスクトップ), K3100M 以上 (モバイル), AMD Radeon または FirePro (VRAM 2GB 以上)	NVIDIA Quadro M4000 以上

※1 zSpace AIO Pro (一体型) の場合は、初期状態のスペックで動作致します。

※2 これらの形式の3Dモデルは、Autodesk® Maya®, 及び Autodesk® 3ds Max® 等により作成できます。

※3 バージョンアップにより、その他の形式にも順次対応していく予定です。

■ アプリケーション機能

	解説
搭載機能	3Dモデル投影機能 / つかむ機能 / 断面機能 / カメラ機能
対応形式	3ds / stl / obj / VRML(wrl) ※2 ※3

※ 本カタログに記載されている会社名、製品名は、各社の商標または商標登録です。
※ 本カタログに記載されている内容は、改良のため予告なく変更する場合があります。
※ 本カタログに記載されている内容は、2019年4月現在のものです。

開発元



株式会社 加藤文明社

本社：東京都千代田区神田三崎町2-15-6 K-STAGE 〒101-0061

Tel.03-3261-8520 / Fax.03-3261-8299

bunmeisha.co.jp

取扱販売店



アトリビュート株式会社

〒108-0072 東京都港区白金3丁目17番-10-106号

TEL:03-4405-8920 HP:<http://www.attribute-jp.com>

E-Mail:st-saito@attribute-jp.com